



合併
70th・50th

町制施行

大久野中 コミュニティ・ スクール

日の出町立大久野中学校
CSだより 第1号
令和7年5月30日

教育目標 「自ら進んで学ぼう 思いやりの心 感動する心をもとう たくましく 心とからだを鍛えよう」

【学校運営協議会】

1 日 時 令和7年5月9日（金）
13:00～15:10

司会 校長
記録 副校長

2 場 所 第二会議室

3 参加者 高橋 正充 校長
若林 秀一 副校長
越沼 規充 委員
橋本真貴子 委員
松尾 欣治 委員
清水 裕一 委員
清水 強 庶務・学務係長
笹井 和也 指導主事



4 内 容

(1) 自己紹介

(2) 教育委員会より

①任命書（≠委嘱状）について

②日の出町学校運営協議会規則について 非常勤特別職の職員（地方公務員法261号）

(3) 校長より

試行錯誤しながらの持続可能な会にしていきたい。（町教委：ゆっくり進めてほしい）

①この1年の取組

大久野中としては、日の出町にあった取組のなかで、コミュニティ・スクール（以下CS）の在り方が出せばいい。（来年度に向けて）

②資料「大久野中コミュニティ・スクール説明」について

（保護者会にて説明済）

小さな工夫・大きな結果、生徒ファーストの実現

学校運営協議会をもつ学校がCS

定期開催は年間3回（+必要な場合）を予定

2回目で学校運営協議会の名称を何か付けたい。

町教育委員会資料の「学校運営協議会の主な取組例」の流れを基本として進める。



③資料「大久野中学校教員の意識」について 自己申告面接（年間3回）で確認予定
本年度から配達されている4社の新聞を活用した取組

テスト前の学習見える化計画表の活用、報告連絡相談、電話での保護者対応 等

④資料「学校経営計画（概要版）」について

CSの位置付け

Ai採点システムの導入 等

委員の皆さんが「教育課程」等、**学校がどこで困っているか理解できる1年にする。**

(4) 意見交換

①新聞を活用した取組

完璧な日本語能力につながる、一石を投じる取組、上手に活用していくといい。
※新聞活用 of 場所の選定が課題。廊下は冬寒い。現在照明が暗い。 [校長]

②C Sの今後の予定はどうなっていくのか。

※昨年度4回 C Sスタートに向けて準備委員会が開催された。

8年度は町内全校又は一部の実施にするかは未定であるが、**大久野中の実践を他4校にどのように広げていくかが課題である。**

③学校に問題が発生した時、第三者的な人が入っていくことができるか。

※協議会委員に入ってもらえることはできる。生活指導的な取組もできる。 [校長]

④地域は学校の様子が分からないのではないかな。

地域が少し遠い感じがする。 [校長]

「学校だより」も自治会回覧なし（自治会長からの要望）、
学校HPで代替

会館掲示板の活用等のシステムも考えられる。

※学校と地域を結びつける手立てを進めていくことが必要。



⑤P T Aの存続はどうなっているか。

※P T Aを無くす地域が多い P T Aの存亡が心配。P T Aは必要。会費は集金済み

⑥学校の状況を保護者に知らせる必要があるのではないかな。

校章の件（取り扱い業者が撤退。単価が高額になる 令和8年度からの方向性）

音楽会DVDの件（小規模の学校ではDVD単価が高額になる。業者探しが大変）

柔道着リサイクルの件（中学3年間、高校でも使用する可能性あり）

→声の掛け合いが少ない。

※学校の発信が、ねじれて伝わらないように間に入る（説明する）ことが学校運営協議会委員の役割。 学校で何が起きているかをどう発信していくかが大切。 [校長]

小さなことでも1年後に成果を出していくことが大切。

(5) 会長、副会長の選出（決定）

○会 長 越沼 規充 委員

○副会長 橋本真貴子 委員

(6) その他

松尾さんより、町内の方から日の出の

「町史」、あきる野市等の「市史」の寄贈の申し出あり。

※第二会議室の一角等、学校でも検討する。

[校長]

次回7月に会長が第2回学校運営協議会を招集する。

